

# ウツスローブ工法

## (間伐材併用法棒)

NETIS 登録No. KK - 010003 (国土交通省)  
森林土木製構造物暫定歩掛一 木材併用法棒工  
(林野庁)

### 工法の説明

当工法は、縦棒 (吹付法棒、現場打コンクリート棒) で全体的な斜面の安定を図り、その縦棒間に間伐材や現地発生木材等を架設して植物の基礎工及び棒間のエロージョン防止材として用い、緑化工を導入するものです。使用された木材は緑化施工後3年余り、その目的を達しながら徐々に腐植化し土壌に還元されます。これにより、緑化面積が広くなり木本類も生育しやすい、より自然に近い斜面を復元する事が可能な工法です。



### 特徴



使用木材量は1,000㎡で約21? = 一戸建 1軒分に相



1,000㎡の施工で人工林1,500㎡の間伐面積に相当。



現場発生の間伐材の流用で、1,000㎡施工すると30~40万円の経費削減を実現。運搬費 ダンプ8台分の相



間伐材の効 ◆ エロージョン防 ◆ 客土保 ◆ 縦棒の横ズレ防



間伐材を75cm間隔で設置することによりラス張工は不 (間伐材設置とラス張では同程度の工事費)



周辺環境へ与える景観はソフトで違和感がな



従来の法棒に比べ木本類は根が張り易く自然な斜面に復元する。



構造物が緑で覆われ景観の保全が出来



同程度の抑止力を持つ従来の法棒工法の中で最も経済的に優

フリー工業株式会社

担当 : 技術本部 岩津 雅也 (昭和60年卒)

TEL 03-3831-8119 FAX 03-3831-0482